

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境					0.40		-		2.9
1 音環境				1.0	0.15		-		1.0
1.1 室内騒音レベル				1.0	0.40		-		
1.2 遮音				1.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				1.0	1.00		-		
2 界壁遮音性能				3.0	-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				1.0	-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
2 温熱環境				2.8	0.35		-		2.8
2.1 室温制御				2.6	0.50		-		
1 室温				3.0	0.50		-		
2 外皮性能				1.0	0.17		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.33		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境				3.0	0.25		-		3.0
3.1 昼光利用				3.0	0.50		-		
1 昼光率				3.0	-		-		
2 方位別開口				3.0	1.00	3.0	-		
3 昼光利用設備				3.0	-		-		
3.2 グレア対策				3.0	-		-		
1 昼光制御				3.0	-		-		
3.3 照度				3.0	-		-		
3.4 照明制御				3.0	0.50		-		
4 空気質環境				4.3	0.25		-		4.3
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆建材をほぼ全面的に使用		5.0	1.00		-		
4.2 換気				4.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.50		-		
2 自然換気性能				3.0	-		-		
3 取り入れ外気への配慮		空気取り入れ口は汚染源の無い方位に設けられている。かつ、各種排気口と異なる方位で、かつ6m以上離れて設置。		5.0	0.50		-		
4 給気計画					-		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		ビル全体の禁煙が確認されている。		5.0	0.50		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		3.0
1 機能性				3.0	0.40		-		3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				3.0	-		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-		-		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		-		
1 広さ感・景観		売場天井高は3.6m以上としている		5.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.33		-		
3 内装計画				1.0	0.33	3.0	-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.7	0.30		-		2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				1.8	0.20		-		
1 空調・換気設備				1.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				1.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				1.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.2	0.30					3.2
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30					
1 階高のゆとり	階高は3.9m以上としている		5.0	0.60					
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40					
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30					
3.3 設備の更新性			2.8	0.40					
1 空調配管の更新性			2.0	0.20					
2 給排水管の更新性			3.0	0.20					
3 電気配線の更新性			3.0	0.10					
4 通信配線の更新性			3.0	0.10					
5 設備機器の更新性			3.0	0.20					
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20					
Q3 室外環境(敷地内)				0.30					1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30					1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40					3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30					1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50					
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50					
LR 建築物の環境負荷低減性									2.3
LR1 エネルギー				0.40					2.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.20					1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10					3.0
3 設備システムの高効率化			2.2	0.50					2.2
集合住宅以外の評価			2.2	1.00					
集合住宅の評価									
4 効率的運用			2.0	0.20					2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00					
4.1 モニタリング			3.0	0.50					
4.2 運用管理体制			1.0	0.50					
集合住宅の評価									
4.1 モニタリング									
4.2 運用管理体制									
LR2 資源・マテリアル				0.30					2.3
1 水資源保護			2.2	0.20					2.2
1.1 節水			1.0	0.40					
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60					
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70					
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30					
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60					2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10					
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20					
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20					
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20					
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10					
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20					
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.3	0.20					2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30					
3.2 フロン・ハロンの回避			2.0	0.70					
1 消火剤									
2 発泡剤(断熱材等)			1.0	0.50					
3 冷媒			3.0	0.50					
LR3 敷地外環境				0.30					2.6
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率82%		3.7	0.33					3.7
2 地域環境への配慮			1.9	0.33					1.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25					
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50					
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25					
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25					
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25					
3 交通負荷抑制	適切な量の自転車置場、駐車場を配置し、管理用車両の駐車施設も設置している		4.0	0.25					
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25					
3 周辺環境への配慮			2.4	0.33					2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40					
1 騒音			3.0	0.33					
2 振動			3.0	0.33					
3 悪臭			3.0	0.33					
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40					
1 風害の抑制			1.0	0.70					
2 砂塵の抑制			1.0						
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30					
3.3 光害の抑制			3.0	0.20					
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70					
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30					

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	2.0	-	-	-	-	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		○	-	-	-	-	-	-	-		○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		-	-	-	-	-	-	-	-					
2.4.2 給排水・衛生設備	-		-	-	-	-	-	-	-	-					
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-					
2.4.5 通信・情報設備	-		-	-	-	-	-	-	-	-					
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	3.0		-	-	2.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		-	-	-	-	-	-	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0		-	1.0	-	1.0	-	-	-	-					
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能	窓システムSC 0.5	窓の日射熱取得率(η) -
	U値(W/m2K)	窓システム 4.0 屋根 2.0 外壁 2.0 床 2.0
	住戸部分 窓システムU値 -	外皮UA値 - η AC - η AH -
3.1.1 昼光率	昼光率 1.5%	
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 3.3%	

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性	執務スペース 6.0㎡/人	病床 8.0㎡/床	シングル 15.0㎡	ツイン 22.0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 30.0 VA/㎡			
1.2.1 広さ感・景観	天井高 0 m			
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.5%	レストスペース 2.0%		
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 25 年			
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 20 年			
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 10 年			
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年			
3.1.1 階高のゆとり	階高 0 m			
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.0%			
3.2 荷重のゆとり	床荷重 2900 N/m2			

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 20%	建物緑化指数 0%		
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 54%	水平投影面積率 8%	地表面対策面積率 23%	舗装面積率 43%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m 1.16	断熱等性能等級	対象外 相当	
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数 80.0%	採光を満たす住戸数 80.0%	
		通風を満たす教室数 80.0%	通風を満たす住戸数 80.0%	
3 設備システムの効率化		太陽光 .0kW	太陽熱等 .0kW	蓄電池 .0kW
非住宅部分	BEI/BEI _m 再エネ有 0.78	無 0.78	オフサイト再エネ有 -	-
集合住宅の評価	一次エネ削減率 再エネ有 無			

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 5.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP)
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 8

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 -	隣棟間隔指標R _w -			
	地表面対策面積率 35.0%	屋根面対策面積率 0.0%	外壁面対策面積率 -		
	見付面積S _b ㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 0 m	基準高さH _b 0 m		
	緑地 2,197㎡	水面 ㎡	保水性対策面 ㎡	高反射対策面 ㎡	再帰性反射対策面 ㎡